

## Theme \*

事業承継を  
取り巻く現状～事業承継の壁と  
経営・財産の承継～

中小企業の事業承継が直面する課題を取り上げ、その解決方法を「経営」と「財産」のそれぞれの側面からお届け致します。

## 【事業承継を取り巻く現状】

日本が直面している「人口減少・高齢化社会」に伴い「**経営者の高齢化**」も進み、事業承継を取り巻く現状が変化しつつあります。

**後継者未定**

中小企業の約58%が後継者の最終決定に至っておりません。

**親族以外への承継が増加**

以前は子息への承継が多かったが、親族以外への承継が増加しております。

**企業売却を視野に入れる企業が増加**

承継未定企業は企業を存続させるための企業売却も有力な選択肢となっております。

**事業承継対策が不十分**

60歳以上の経営者で十分な事業承継対策を行っているのは約14%となっております。

**相続・株価対策が遅滞**

多くの経営者が実際に相続・株価対策の準備を行うことにより相続税負担の重さを実感しております。

「経営」の承継の観点

**相続税の増税**

相続税の増税により自社株式の相続にも多額の資金準備が必要となります。

**個人増税・法人減税の傾向**

個人で納税資金を貯めることがますます困難となっております。

**相続税試算が不十分**

経営者の約半数が相続税試算を行っておりません。

**遺言書作成の必要性**

遺言書の作成の必要性は認識しているが、実際に実施している割合は約10%となっております。また、それに伴い遺産をめぐるトラブルが深刻化しております。

「財産」の承継の観点

## Theme \*

# 事業承継を 取り巻く現状

～事業承継の壁と  
経営・財産の承継～

### 【深刻化する事業承継問題】

このような状況下で経営者が事業を引き継ごうと考えた場合、事業承継の壁にぶつかり、廃業を選択するケースも少なくありません。

#### ～事業承継の壁～

##### 1. 後継者不足

少子化や職業選択の多様化により人材確保が困難となってきたこと等から経営者になる人材が不足しています。

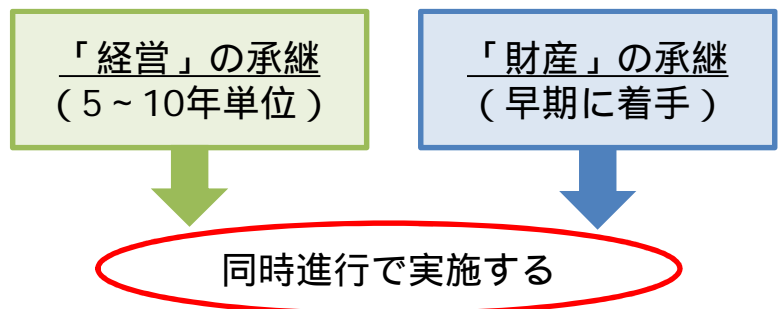
##### 2. 相続税負担

相続税対策の遅れによる自社株式相続時の負担が増加し、承継後の事業継続が困難となっています。

##### 3. 代表者交代による業績悪化・信用不安

経営者個人に依存した経営から、経営のシステム化への転換に遅れが生じ、業績悪化等が懸念されています。

スムーズに承継を進めていくためには事業承継を「経営」の承継と「財産」の承継とに分けて考え、これらを同時進行で実施していくことが大切となります。



経営・財産の承継に関する解決方法は次回以降、配信致します。

税理士法人 池脇会計事務所  
IKEWAKI TAX ACCOUNTING & CONSULTANTS GROUP

このニュースレターの内容については、正確性に万全を期しておりますがその内容を保証するものではなく、これらの情報によって生じたいかなる損害についても当法人は一切の責任を負いかねますのでご了承願います。

また、わかりやすさを優先し説明を簡略化すること、例外規定の存在、時間経過および法改正等により、当該内容が必ずしもすべての事案に適用されるものではないことを、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。